

画期的な RAW 写真強化ソフトウェアの DxO PureRAW 3 が、 DeepPRIME XD でフォトグラファーに驚異の画質を提供



受賞歴を誇る DxO の RAW 処理ソフトウェアの新メジャーバージョンでは、革新的なノイズ除去テクノロジー **DeepPRIME XD (eXtreme Detail)** により、さらに優れたコントロールを提供。もちろん、ユーザーに愛されている「ワンクリック」機能は変わりません。また、ユーザーインターフェイスも刷新され、ワークフローがさらに円滑になります。

パリ (フランス): 最新の RAW 処理とレンズ補正を打ち出した DxO Labs は、本日、同社の革新的な RAW 写真強化ソフトウェアである DxO PureRAW 3 の即時リリースを発表いたします。

PureRAW 3 はノイズ除去、色の向上、ディテールの強化、レンズシャープネス補正により、あらゆる RAW 画像の画質を最適化します。

DxO PureRAW 3 では、DxO の最新人工知能テクノロジー DeepPRIME XD が搭載されました。これにより、業界をリードするノイズ除去と RAW 画像強化を提供し、評価の高い DxO の光学モジュールで適用された補正に対するコントロールを向上します。さらに、ユーザーインターフェイスが刷新され、あらゆるフォトグラファーのワークフローとさらに連携しやすくなりました。



DxO DeepPRIME テクノロジーをさらに改善 - 富士フィルムをご愛用のフォトグラファーの皆様も利用可能に

DxO PureRAW はノイズ除去と画質向上の基準を定めただけでなく、DeepPRIME XD の導入により、パフォーマンスをさらに向上させます。通常の DeepPRIME よりもさらに幅広いニューラルネットワークを使用することで、DeepPRIME XD は一段と優れたディテールを引き出し、色の精度を向上します。また、高 ISO で撮影した場合でも、滑らかでノイズのないボケ効果を実現します。

フォトグラファーからは、DeepPRIME XD を使用することで、ノイズパフォーマンスにおいて 2.5 ストップ以上改善できるという声が届いています。たとえば、ISO 4000 で撮影された画像は、ノイズ、色、鮮明度の点で ISO 500 で撮影された画像に匹敵します。

ノイズ除去は RAW 変換プロセスの一部として実行されるため、DeepPRIME XD は画像のダイナミックレンジも改善することができます。これにより、フォトグラファーは光量が限られているなど厳しい状況でも、より柔軟な撮影が可能になります。DxO PureRAW 3 ではオリジナルの DeepPRIME モードも使用でき、低量の強化で十分な場合やより高速なパフォーマンスが必要な場合に適用可能です。

「DeepPRIME の結果を初めて見たときには、私たちも非常に驚きました」と、DxO のマーケティングおよび製品戦略担当役員ジャン＝マーク・アレクシアは述べています。「そして、より大規模なニューラルネットワークであれば、さらにパフォーマンスを向上できることに気がついたのです。これを DeepPRIME XD で実現することができました。このテクノロジーは境界をさらに押し広げることができるため、DxO PureRAW 3 はあらゆるフォトグラファーの画像に革命を起こすことになるでしょう。もちろん、既存のワークフローを妨げることはありません。」

これまで、DeepPRIME XD は X-Trans センサーを搭載したカメラで撮影された RAW ファイルには対応していませんでしたが、DxO PureRAW 3 では、Fujifilm X シリーズがサポートされるようになりました。このサポートは、同じく本日リリースされる DxO PhotoLab 6.4 でも提供され、Fujifilm X シリーズをご利用のフォトグラファーに歓迎されると期待しています。これにより、特に高 ISO で撮影された X-Trans の画像で、驚異のノイズ除去、優れたディテール強化、正確な色の回復をご利用いただけるようになります。

コントロールがあつてこそ、パワーを発揮

DxO PureRAW 3 では、優れたパフォーマンスに加え、新しいレベルのコントロールを活用できます。新しくなったソフトウェアインターフェイスでは、レンズシャープネス補正のレベルを選択できるだけでなく、ヴィネット補正や色収差補正の有効/無効を切り替えられるようになりました。また、他社製ソフトウェアでは歪みの補正時に強制的にクロップが実行されますが、DxO PureRAW 3 では、フォトグラファーはセンサーが捉えた画像領域すべてにアクセスすることができます。

改善されたインターフェイスで、ワークフローがさらに円滑に



DxO PureRAW 3 では、ワークフローにおけるさまざまな点も改善されています。多数のファイルを一括処理する場合、ユーザーは複数のキューを作成でき、処理中でも画像とキューリストの両方で編集、並べ替え、優先順位づけができます。また、これまでの JPEG とリニア DNG に加え、TIFF 形式でもファイルをエクスポートできるようになりました。

さらに、ユーザーインターフェイスが刷新され、DxO の他のソフトウェアにより近いインターフェイスになりました。

DxO PureRAW について

DxO PureRAW は、他には見られない独自性の高いソフトウェアです。ワークフローの最初の段階で RAW ファイルに比類のない強化を施すため、フォトグラファーは可能な限り最高の画像を元に編集を行うことができます。

これまでの慣例を打ち破った DxO PureRAW は、畳み込みニューラルネットワークを使用して、RAW 画像変換のデモザイキングとノイズ除去処理を同時に実行します。数十億枚のサンプル画像を使ってトレーニングされたネットワークは、人間が設計したアルゴリズムによる結果をはるかにしのぐ結果を生み出します。これにより、オリジナルの RAW ファイルのすべての柔軟性を維持しつつ、色、ノイズ、微細なディテールの面において最高の画質のリニア DNG ファイルを得ることができます。

さらに DxO PureRAW は、業界で高く評価されている DxO 光学モジュールも搭載しています。DxO の光学モジュールは、80,000 組以上のレンズとカメラの組み合わせのデータベースにより、レンズシャープネス、幾何学的ディストーション、ヴィネット、収差を高いレベルで補正します。2023年3月のアップデートでは、人気の高い Nikon Z ズームレンズ 2 つ、Canon の RF Prime、一部の Panasonic カメラを含む、数多くのカメラとレンズがサポート対象に追加されています。

DxO について

DxO は 20 年以上にわたり、写真科学とデジタル画像処理分野を先駆者として切り開いてきました。DxO は技術的な厳格さと絶え間ない革新をベースに、フォトグラファーのために RAW 現像の画質を向上し、市場でも最高クラスの高機能ソフトウェアを開発しています。DxO のソフトウェアを活用することで、フォトグラファーは最高の画質を実現し、クリエイティブの幅を広げることができます。また、すべての製品は高精度の光学モジュールを搭載しています。DxO の DxO PhotoLab は「EISA アワード 2020-2021 写真ソフトウェア部門の最優秀賞」に加え、2020年、2021年、2022年の3年連続で TIPA アワードの「画像処理ベストソフトウェア賞」を受賞しています。受賞ソフトウェアには、RAW 処理とノイズ除去ソフトウェアの DxO PureRAW、Adobe Photoshop® と Lightroom Classic® 用のクリエイティブなプラグインスイートの Nik Collection、DxO PhotoLab が含まれます。



プレス関係者お問い合わせ先

press.relations@dxo.com

DxO は DxO Labs の登録商標です。本文書で使われているその他の商標または商号は、その商標および商号を所有する他社、またはその商品を指すために使用される場合があります。DxO Labs はサードパーティーの登録商標および商号、またはそのいずれかに対するいかなる主張も放棄します。